



WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

よいことのために手を取りあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

- 会長 窪田 秀徳 ●副会長 内河 利夫・飯島 幸宏
- 幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

第2997回例会 (令和7年9月8日) 《上田RC・丸子RC合同例会》



ホームページQR

[ゲスト紹介]

- ◆国際ロータリー第2600地区ガバナー 小林 磨史 様
- ◆国際ロータリー第2600地区幹事 飯沼 新吾 様
- ◆東信第二グループガバナー補佐 山崎 芳雄 様

[会長挨拶]

窪田 秀徳 会長

ガバナー公式訪問例会開催にあたり、本日は2600地区ガバナーの小林磨史様、東信第二グループガバナー補佐の山崎芳雄様、地区幹事の飯沼新吾様にお越しいただき、上田ロータリークラブと丸子ロータリークラブの合同公式訪問例会を開催できますことを心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



クラブ活動について

本年度、私たち上田ロータリークラブは「仲間と地域の絆物語」をテーマに掲げ、一年間の活動を通じて「絆」を深めてまいります。クラブ内の絆はもちろんのこと、地域社会との繋がりを大切に、活動の証としてオリジナルの「絆」ロゴも作成いたしました。

地区行事への参加について

地区の行事も「絆づくり」の大切な機会と捉え、積極的に参加してまいります。特に、ロータリーの意義や活動を深く学べる貴重な機会として、以下の2つの大きな地区行事を重視しています。

- 地区大会(11月15日 ホテルブエナビスタ)
- 東信地区IM・会員セミナー(2月21日 佐久グランドホテル)

これらの行事には、特に入会3年未満の会員を中心に参加を促し、ロータリアンとしての成長を促すとともに、他クラブの会員との交流を通じて「仲間の絆」を育んでいきたいと考えています。参加することで得られる学びや繋がりは、かけがえのない財産となるでしょう。

また、本年度は・公共イメージ向上委員会に飯島幸宏さん、国際奉仕委員会に柳澤雄次郎さん、ロータリー財団委員会に田中克明さん、そして、桑原茂実ガバナー補佐エレクトを輩出いたしました。来年度に向けても、地区への貢献と関わりをより一層深めていきたいと考えております。

結びに、本日のガバナー公式訪問が、私たちにとって実りある時間となりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

[ガバナー補佐 挨拶]

東信第二グループガバナー補佐 山崎 芳雄 様

本日は小林ガバナー、飯沼地区幹事にお越しいただきまして心より歓迎を申し上げます。先ほど、両クラブの会長・幹事懇談会において多岐にわたり御指導いただきまして誠に有り難う御座いました。



小林ガバナーは、登山や釣り等を趣味にもたれ、また地域活動では多方面の役職に付かれており極めてエネルギッシュにご活躍をされています。ご職業柄コミュニケーションにおいては、本当にフランクで何の分け隔てもなく私が地区研修会に参加した際も気さくに話しをして頂きました。今年の6月に小林ガバナーがカルガリーで開催の国際大会にご出席をされて際には、9名いるガバナー補佐全員にお土産を買ってきて下さる等の気配りにお人柄の良さを改めて受けました。

本日は上田ロータリークラブ、丸子ロータリークラブの合同例会に成っております、この後小林ガバナーより講話を頂きます、本日は宜しく願いを致します。

[丸子ロータリークラブ 会長挨拶]

齋藤 育子 丸子RC会長 様

～小林磨史ガバナー様をお迎えして～

皆様、こんにちは。本日は、小林ガバナー様、飯沼地区幹事様にはお忙しい中、上田までお越しいただきまして誠にありがとうございます。山崎ガバナー補佐様、よろしく願いいたします。また、窪田会長はじめ上田ロータリークラブの皆様には、ご準備いただき、感謝申し上げます。先程、小林ガバナー様と懇談の機会をいただき、実りあるお話を伺うことができました。当クラブでは、9月27日に上田東急REIホテルにて開催されますRYLAに向け、準備を進めております。ご出席の皆様には当日大変お世話になります。丸子ロータリークラブがホストクラブに決まりましたから服部実行委員長を中心に打ち合わせを重ねてまいりました。成功に向けて誠心誠意努めてまいります。さらに、本年度の地区大会・IM共通のテーマ「地域の防災・減災」です。当クラブでは栗木社会奉仕委員長を中心に救命救急講習会の準備を進めており、消防士の方をお迎えして、会員を中心に学び深めたいと考えております。小林ガバナー様のご意向沿いながら、着実に事業を進めてまいります。どうぞ今後とも小林ガバナー様、山崎ガバナー補佐様、飯沼地区幹事様、そして皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



[ガバナー公式訪問 挨拶]



国際ロータリー第2600地区ガバナー 小林 磨史 様

1. 新ガバナー、小林磨史氏のご紹介

小林磨史氏(1954年9月15日生まれ)は、長野県松本市を拠点に、ホテル業の分野で長年にわたり活躍してきた実業家です。地元の松本南ロータリークラブに2009年に入会して以来、そのロータリー歴は15年以上に及び、クラブの幹事や会長といった要職を経験し、組織運営の中心を担ってきました。2025-26年度には、これまでの功績が認められ、第2600地区ガバナーという重責を担います。そのリーダーシップは、ポールハ



リスフェローや米山功労者としての表彰からも明らかです。

ビジネスでの成功に加え、小林ガバナーのもう一つの顔は、地域社会への献身です。全日本ホテル連盟副会長や松本交通安全協会会長など、数多くの公職を歴任し、地域経済や住民の安全に貢献してきました。2024年に観光分野で国土交通大臣表彰を受賞したことは、多岐にわたる活動が国レベルで評価された証です。また、個人的な趣味として、槍ヶ岳や燕岳に登るなど、登山と海釣りを愛好しており、その活動的なライフスタイルが、ロータリーでの精力的な活動を支えていることがうかがえます。

ガバナーとしての研修では、2月にフロリダ州で1週間の研修を受け、世界520人のガバナーエレクトと共に学んだことを報告しました。その後RIの次期会長マリオ氏が就任20日前に辞任され、代わってイタリアのフランチェスコ・アレン氏が次期会長に決まったことも伝えました。

2. 国際ロータリーの新しい時代を象徴する活動方針

2025-26年度国際ロータリー会長、フランチェスコ・アレツォ氏(イタリア出身)がマリオ氏から引き継いだメッセージ「よいことのために手を取りあおう」(UNITE FOR GOOD)は、国際ロータリーが新たな時代へと進む決意を象徴しています。このメッセージは、友情と信頼を基盤に、世界と地域社会に持続可能な良い変化を生み出すという、ロータリーの普遍的な使命を再確認するものです。

このメッセージを具体化するため、国際ロータリーは以下の4つの優先事項に注力します。

1. より大きなインパクトをもたらす
2. 参加者の基盤を広げる
3. 参加者の積極的なかわりを促す
4. 適応力を高める

3. ロータリーの主要な取り組み：ポリオ根絶と地域社会への貢献

ロータリーの活動は、地域社会から国際的な舞台へと広がる側面を持っています。最も顕著な例が、世界的な公衆衛生の課題に挑んだポリオ根絶活動です。1988年、世界で年間35万件以上のポリオ感染が確認されていた時代に、ロータリーは「ポリオ・プラス」プログラムを立ち上げました。これは単なる寄付活動に留まらず、世界中のロータリアンがボランティアとしてワクチン接種活動に参加し、政府やNGO、ユニセフや世界保健機関(WHO)といった国際機関と協力して、この病気を根絶するための壮大なキャンペーンを推進

めたものです。

その結果、現在ではポリオの発症件数は99.9%も減少しました。これは近代史上最も成功した公衆衛生キャンペーンの一つであり、草の根レベルの活動が、世界規模で持続的な変化を生み出すことができるというロータリーの力を証明しています。しかし、残る0.1%の撲滅こそが最も困難な課題であり、より一層の献身と資金が必要です。2025-26年度会長のフランチェスコ・アレツォ氏は、この最後の課題を達成するため、会員が協力して活動を継続することの重要性を改めて強調しています。

4. 第2600地区の運営方針と具体的な活動目標： つなごう未来へ 信濃の国の物語



小林ガバナーが掲げる第2600地区の運営方針は「つなごう未来へ 信濃の国の物語」です。このテーマには、山河に隔てられた信州の豊かな自然と歴史、そしてそこで育まれた独自の文化やコミュニティを、ロータリーの奉仕の精神と融合させて未来へとつないでいくという強い思いが込められています。このビジョンを実現するため、以下の3つの柱に基づき、具体的な活動が推進されます。

1. 居心地の良い、元気なクラブ環境をつくろう

クラブ活動の中心は会員のエンゲージメントです。すべての会員が自律的に活動できる環境を築き、一人ひとりがリーダーシップを発揮できるよう促します。例会をより魅力的で楽しいものにする事で、会員の参加意識を自然と高めていきます。これは、単なる出席率向上を目指すだけでなく、会員同士の友情と信頼を育むための基盤となります。また、デジタルツールの活用を積極的に推奨し、情報共有や効率的な運営を支援することで、クラブの持続可能性を高めるための3年ビジョンを策定し、実行に移します。

2. 新しい友人たちを温かく迎えよう

ロータリーの多様性をさらに広げるため、新しいタイプのクラブ設立を積極的に支援します。例えば、特定の関心を持つ人々が集まる分野特化型クラブ、

多忙な人々が参加しやすいオンラインクラブ、衛星クラブなど、従来の枠組みにとらわれない柔軟なクラブ形態を推進します。新入会員が安心して活動を始められるよう、ベテラン会員がメンター(相談役や助言者)として丁寧にサポートする体制を整え、新旧会員が世代を超えて交流できる機会を創出します。

3. 百の言葉より一つの行動を起こそう

「百の言葉より一つの行動」という原則に基づき、ポリオ根絶への寄付活動をはじめ、地域社会の喫緊の課題解決に向けた奉仕活動を積極的に推進します。特に、未来を担う若者を「平和の担い手」として育成するため、青少年交換プログラムなどの取り組みに力を入れます。

「活動支援」

1. クラブへの支援

ローターアクト インターアクトの活動支援

2. 地区委員会都グループ活動

大学でのローターアクトクラブ設立支援

5. 地区大会のテーマと防災・減災への提言

地区大会 **2025年 11月15(土)・16日(日)**
松本市 ホテルブエナビスタ、キッセイ文化ホール

大会テーマ **ロータリーができる 防災・減災**

自 助・・・ わが身を守り、人を救助
共 助・・・ 周り(近所)の人と協力する
公 助・・・ 公設の避難所等に逃げる
お守り・・・ RC防災カードをお守りにする

2025年11月15日・16日に松本市で開催される地区大会のテーマは「ロータリーができる 防災・減災」です。これは、長年にわたり防火・防災活動に携わってきた小林ガバナーの豊富な経験に基づく、非常に時宜を得たテーマです。「自助・共助・公助・お守り」という4つの視点から、ロータリアンが災害時に果たせる役割を具体的に提言しています。

- **自助**：「超我の奉仕」の精神のもと、まずは自分の命を守るための準備が重要です。日頃から体力づくりや防災訓練に参加し、車のガソリンや携帯のバッテリーを満タンにしておくなど、日々の習慣に防災意識を取り入れることが求められます。
- **共助**：災害時には、近隣の人々との協力が不可欠です。ロータリーの価値観である「奉仕」「DEI」「親睦」に基づき、避難所での共同生活を支えるなど、地域の一員として協力する姿勢が求められます。
- **公助**：公的機関の助けがすぐに来ない状況を想定し、ロータリーのネットワークを活用して周辺地区との

防災協定を結んだり、防災イベントを開催したりすることが提案されています。

- **お守り**：緊急情報を記入した「RC防災カード」を「お守り」として常に持ち歩くことを推奨しています。この活動は、個人の防災意識を高めるだけでなく、ロータリーの行動指針である「参加者の基盤を広げ、積極的なかかわりを促し、適応力を高める」という点にも合致するものです。

6. 国際交流と将来の展望

第2600地区は、長野県・長野県教育委員会と子どもの学びと国際交流に関する包括連携協定を締結しました。これにより、青少年交換プログラムをはじめとする若者育成のための具体的な活動が強化されます。今後の国際大会については、2026年には台湾の台北市での開催が予定されており、ロータリーのグローバルな活動の広がりを示しています。また、2027-28年度の国際ロータリー会長には、米国出身のラリー A. ランスフォード氏が会長ノミネーに宣言されています。

[幹事報告]

湯田 勝己 幹事

1. 地区事務所

メジャードナー顕彰午餐会のご案内
台北国際大会ツアーについて

2. 上田市社会福祉協議会

第19回上田市社会福祉大会の協賛について(依頼)

3. 例会変更

上田東RC

9/17(火) 9/24 10/15 10/22 11/5 定受なし

[ニコニコBOX]

小山 宏幸 委員長

飯島幸宏さん 石井懋人さん 出田行徳さん 伊藤典夫さん 上原文明さん 内河利夫さん 小幡晃大さん 上原孝雄さん 窪田秀徳さん 桑原茂実さん 小林浩太郎さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 滋野眞さん 鳥田甲子雄さん 鳥田太一さん 鈴木芳朋さん 関啓治さん 関勇治さん 滝沢秀一さん 竹田和徳さん 田邊利江子さん 林秀樹さん 比田井美恵さん 藤森幸路さん 布施修一郎さん 三井英和さん 矢島康夫さん 柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん 湯田勝己さん 小林由孝さん

本日喜投額 34名 ¥ 40,000

累計 ¥ 429,000

[例会の記録]

司会：酒巻 弘 会場・出席委員会委員長

斉唱：国歌・ロータリーソング

- ゲスト紹介 ● ガバナー補佐挨拶 ● 会長挨拶
- 幹事報告 ● 委員会報告 ● ガバナー講話

[ラッキー賞]

小林磨史ガバナー (窪田会長より)

清里ロックビールとカレー)

工藤洋三さん 丸子RC (窪田会長より)

清里 清泉寮工場のパン)

関勇治さん (丸子RC内堀委員長より お花)

伊藤典夫さん(滋野眞さんより 雪中梅)

鳥田太一さん(飯島幸宏さんより 富山の白エビおかし)



[出席報告]

酒巻 弘 会場・出席委員会委員長

	会員数	出席ベース	出席者数	出席免除(b) ()内は出席者数	出席免除(a)	メイクアップ ()内はMake up後	出席率
本日	53	52	42 コロナ欠席0	4(3)			84.62
前々回 (8/25)	53	52	45	4(2)		2(47) コロナ欠席0	90.38

[次回例会予定]

BS/GS賛助金贈呈 『ロータリーの友』紹介雑誌委員会
(9月22日発行)

【会報担当】 兪 希英 会報委員

[国際ロータリー第2600地区ガバナー 小林 磨史 様 公式訪問記念写真]

